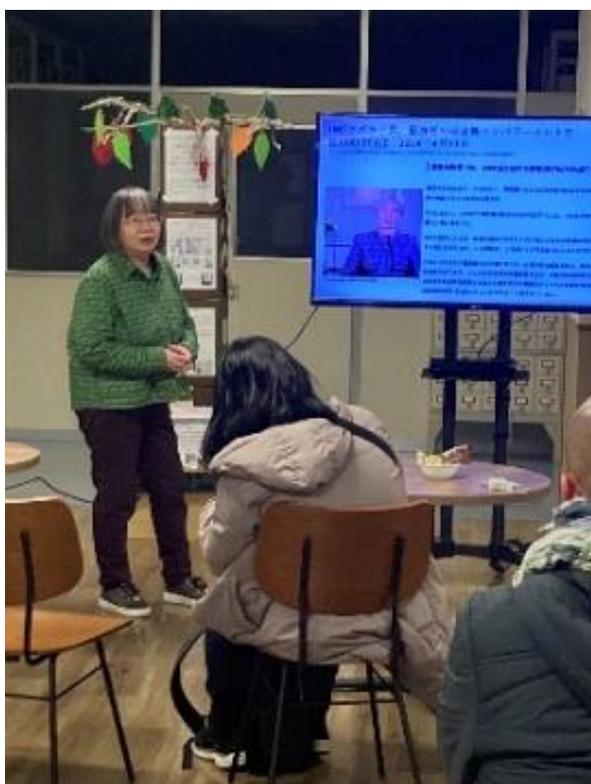


3月7日国際女性デーでイベントを行いました。

3月8日は国連が提唱する「国際女性の日」となっています。男女共同参画推進室では、国際女性デーについて周知し男女共同参画について考える機会を設けるために、3月7日（金）に朝倉キャンパス 図書館メディアの森 1階のリフレッシュコーナーにて、第4回 buntan café「国際女性デー：女性と政治・女性と健康を考えよう」を行いました。

まず話題提供者として、戸田真紀子先生（京都女子大学 現代社会学部 教授）より、「ルワンダの女性と政治について」話題提供がなされました。ルワンダは1994年にジェノサイドが起こり、3か月間で約80万人が殺害されました。男性が少なくなったこともあり、また女性の連帯もあって、女性の政治家が増えています。ルワンダも日本もともに家父長制社会ですが、ルワンダは世界でも最も下院議員比率が高い国となりました。日本とルワンダの違いは何なのか、という点で、「女性の連帯」をキーワードに、日本国内で行った調査との比較についての発表が行われました。

次に男女共同参画推進室の宮地歌織特任講師より、「ケニアの女性と健康（リプロダクティブ・ヘルス）について」というテーマで現地での調査（家族計画や女子割礼、FGM等）について報告されました。女性の健康という視点からは、アフリカだけの課題ではなく、実は日本でもまだ課題が多いなど現状などが指摘されました。各発表後に参加者からの質疑応答も行われました。



第4回 buntan café

国際女性デー (ブックイベント)



「国際女性の日」(毎年3月8日)は国際婦人年である1975年3月8日に国連で提唱され、その後、1977年の国連総会の議決により制定されました。

今回、国際女性デーとして女性と政治、女性と健康に関する書籍の著者よりお話いただきます。アフリカについての著書をご紹介しますながら、日本のことについても、考えてみる機会になればと思います。

性別に関わらず、アフリカ、国際政治、女性と健康など関心のある方なら、どなたでもご参加いただけます。ぜひ気軽にお越しください。(申し込み不要)

日時: 令和7年3月7日(金) 17:30~18:30

場所: 高知大学朝倉キャンパス メディアの森1階 リフレッシュコーナー



話題提供者① 戸田真紀子氏

「ルワンダの女性と政治について」

(京都女子大学・現代社会学部 教授)

<略歴>

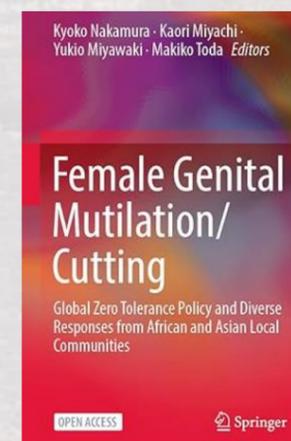
大阪大学大学院法学研究科博士課程後期単位取得退学、博士(法学)。天理大学国際文化学部教授を経て、現職。専攻は比較政治学(アフリカ地域研究)。主な著書として、『貧困、紛争、ジェンダー アフリカにとっての比較政治学』(単著、晃洋書房、2015年)、『アフリカと政治 改訂版』(単著、御茶の水書房、2013年)など。



話題提供者②: 宮地歌織氏

「ケニアの女性と健康(リプロダクティブ・ヘルス)について」

(高知大学 安全・安心機構 男女共同参画推進室 特任講師)



5 ジェンダー平等を実現しよう



問い合わせ先:

高知大学男女共同参画推進室

E-Mail: sankaku@koch-u.ac.jp

